

次の文章を読んで、後の設問に答えなさい。

日本でもNHKの「白熱教室」という番組で広く知られるようになりましたが、社会心理学者のシーナ・アイエンガーが行なった興味深い実験があります。あるスーパーマーケットの店頭にジャムの試食ブースをつくり、ある週末には二四種類のジャムを並べ、別の週末には六種類のジャムを並べて、買い物客の反応を探ったのです。その結果によると、二四種類のジャムを並べたときには買い物客の約六〇％が試食したそうですが、六種類のジャムを並べたときには約四〇％しか試食しなかったそうです。ところが驚くべきことに、実際にジャムを購入した客の数は逆だったのです。前者のブースでは買い物客の三％しか購入しなかったのですが、後者のブースでは三〇％近くの客が購入したのです。

ここには、いわば「多様化の皮肉」を見てとることができます。私たちは、選択肢の豊かな世界の実現を目指して、社会の近代化を押し進めてきました。しかし人間は、選択肢が多ければ多いほど、なかなか決定を下すことが難しくなるようです。選択肢に順位が付けられていれば、まだしもそれに依拠して判断することもできません。したがって、まったくフラットに並べられていると、さてどれを選んだらよいものか、さっぱり見当をつけにくくなるのです。

選択にこのような迷いが生じた場合、多くの人はどうするでしょうか。それがジャムなら、とりあえず購入を控えておくこともできるでしょう。しかし、どれかを選択しないと前には進めない場合、どうしたらよいでしょうか。デジタル・ネイティブの世代なら、さっそくスマホを取り出して、ネットで検索をかけるかもしれません。しかし、もともと手っ取り早い方法は、身近にいる誰かに意見を尋ねてみることでしよう。

ネットの検索機能も、じつは多数の人間の態度を統計的なアルゴリズムで割り出しているにすぎません。たとえば、ネットの通販サイトで推薦商品を表示してくれる機能は、自分が購入した商品と同じものを購入した他の人の多くが、それ以外にどんな商品を購入しているかを計算して示してくれるものです。私たちは、様々な局面において、他者の態度や意見を参考にしながら自らの選択を行なっているのです。そして、近年はさらにその傾向が強まっています。

AKB(注1)にいた前田敦子さんは、第三回の総選挙(注2)でトップに選ばれたとき、こう語っています。「プロデューサーにセンターで歌えと言われても、どうして自分なんだろうと不安があった。でもファンに選んでもらって、ここに居ていいんだと思えました」(『朝日新聞』二〇一二年一月一日)。アイドルとしての自分を自己評価するに当たって、秋元さんによる評価だけでは自信を抱くことができず、ファンから評価されて初めて安心できたと言っているのです。

AKBを国民的なアイドルグループへと育て上げた秋元さんは、そのメンバーにとって神様のような存在です。しかし、その彼から授かった評価であっても、自信の絶対的な根拠にはなりません。不安を覚えてしまう。彼女はそう吐露しているのです。では、この状況を学校に置き換えてみたらどうでしょうか。AKBのメンバーは秋元さんをしばしば先生と呼んでいるようですし、その芸能活動も部活に例えられることが多いので、さほど唐突なことではないでしょう。

すると、学校の教師から受ける肯定的な評価が、今日の子どもたちにとっては絶対的な自信の根拠となりえなくなっていることに気づかれます。裏を返せば、その否定的な評価も、絶対的な反発の対象とはなりません。彼女が持っているのです。教師は教育のプロフェッショナルのはずですが、その言動の重みが大幅に失われているからです。先生の教えを信じてさえいけば人生の可能性が開けるなどは、もはや素朴には思えなくなっています。そこに自分の人生の指針があるとは感じられず、その代わりに、ちょうど前田さんがファンからの評価を自信の支えとしたように、クラスメートからの評価のほうに重きを持つようになっていっています。

たとえば、フェイスブックなどのSNSを駆使して絶えずつながりを保持しようとしていたり、ツイッター(注3)でフォロワーの数を過剰に気にかけたりするのも、おそらく同様の理由からでしょう。そこでもらえる「いいね!」の反応が、自分の支えとなっているのです。(中略)他者に囲まれた価値ある人間として自分が見られているかどうか、周囲の人びとの反応を過剰に気にかけるのは、そもそも承認を与えてくれる他者がいるかどうか、自分自身がつねに気を揉んでいるからです。だから、二重の意味で他者からの評価が気になるのです。

(土井隆義『つながりを煽られる子どもたち―ネット依存といじめ問題を考える』岩波書店 二〇一四年より
なお、出題にあたり一部文字の表記を変更した箇所がある。)

(注1) AKB:音楽プロデューサーの秋元康氏がプロデュースしたアイドルグループ。AKB48。

(注2) 総選挙:AKB48の次のシングル曲を歌うメンバー等をファンの投票で決めるイベント。

(注3) ツイッター:現在の「X(エックス)」。二〇二三年に名称を変更。

設問

はじめに、著者の述べていることを二〇〇字程度で要約しなさい。次に、著者の述べていることを踏まえて、今後の学校教育において教師は子どもたちにとってどのような存在であるべきか、そのために教師はどうすべきかについて、あなたの考えを六〇〇字程度で論じなさい。全体で八〇〇字以内(厳守)とします。